

議会報告会 会場報告書

担当班： 2 班 班代表者： 園田依子

概要			
地区名 : 西紀中地区 日時 : 平成26年11月17日 (月) 19:30~21:00 場所 : げんき・げんきハウス 参加人数 : 19人(男17人・女2人)	【出席議員】 園田依子 吉田浩明 國里修久 河南克典 小島政行 恒田正美	(1) 開会あいさつ : 園田依子 (2) 議会報告 : 恒田正美 國里修久 (3) 質疑応答 : 下記参照 (4) 意見・提言等 : 下記参照 (5) 閉会あいさつ : 河南克典	挨拶・総括 : 園田依子 河南克典 司会進行 : 小島政行 報告 : 恒田正美 國里修久 受付・記録 : 吉田浩明 河南克典 会場 (マイク) : 國里修久

【主な質疑】

質疑・意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子高齢化が進み、消滅集落・自治体が生じると日本創成会議が指摘している。本市も施策として企業誘致を推進しているが、近隣市の状況を見て無理である。三田市の企業には、阪神間から多くの従業員が通っているので、その人たちを本市に住んでもらう手だてを打ち出せないものか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子化・定住促進対策特別委員会で参考にさせていただくとともに、執行者に意見があったことを伝えます。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 住む人にとっては都会の方が住みやすい。篠山市は定住よりも遊び、観光で来る人を増やす取り組みを進めるべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子化・定住促進対策特別委員会で参考にさせていただくとともに、執行者に意見があったことを伝えます。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 定年退職者のUターンだけでは30年後は在住者がいなくなる。若者の定住策を進めるべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子化・定住促進対策特別委員会で参考にさせていただくとともに、執行者に意見があったことを伝えます。

質疑・意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> 土地利用基本条例では、農業のあり方をどう考えているのか。集落は誰が守るのか。大型農家が増え、草刈はしないし環境の悪化は深まる一方である。しっかり対策を講じてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 本市では、大型農家への支援と合わせて集落を守る集落営農組織化を進めています。執行者に意見があったことを伝えます。
<ul style="list-style-type: none"> 但馬地方では、小規模校であっても今後5年間は統廃合しないという宣言があったが、本市議会ではどう考えているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 子供の成長にはある一定の子供の数を確保し、切磋琢磨することが大切であると考えます。
<ul style="list-style-type: none"> 高齢化が課題であり、定住化を真剣に取り組んでほしい。提案として、特産物の振興と特産品を観光に結び付けるなど、若者が農業で生活できる方策を打ち立てるべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> 少子化・定住促進対策特別委員会で参考にさせていただくとともに、執行者に意見があったことを伝えます。
<ul style="list-style-type: none"> 高齢化が進む中、老人会の加入率はどうなっているのか。高齢者が健康で生き方を考え、生きがいを持って暮らせる対策も大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 執行者に意見があったことを伝えます。
<ul style="list-style-type: none"> 政務活動費の中で、資料作成費が0円であるのはなぜか。議員活動は広報等の資料の作成によって市民に周知するべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 政務活動費の使途は、条例で定められた基準の範囲内で各会派に委ねられています。なお、政務活動費を超える支出があれば各会派の負担になります。